

4月からの大学等遠隔授業に 関する取組状況共有 サイバーシンポジウム

2020.5.29(金)

13 「公立の普通科高校による 遠隔授業の取組とその成果と課題」

埼玉県立川越南高等学校
情報科教諭 春日井 優

概要

- 発表内容の位置付け
- 2月までの本校の状況
- 臨時休業が始まってからの本校の状況と取組
- これまでの状況と取組から見えてきた課題
- まとめ

発表の位置付け

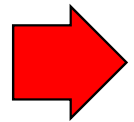
- 緊急事態宣言解除

5月14日 39県

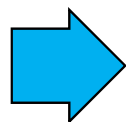
5月21日 関西3府県

5月25日 解除宣言

- 第2波の到来が心配され、備えておく必要がある



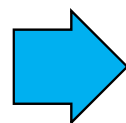
これまでの取組を振り返り、
より遠隔授業の効果が発揮されるようすることと
わかってきた課題を検討をする



これから始める学校の参考にしてもらう

2月までの本校の状況

- 埼玉県による整備
 - 2018年12月 Chromebook 43台 + 全普通教室 無線LAN
教員・生徒全員にアカウント
Classroom・G Suite for Education利用可
 - 2019年 5月 導入時の教員向け研修会
- メディアによる取材・他校からの視察もあったが・・・
- 活用は限定的(一部の授業・教員のみ)
 - 決して先進的な取組とはいえない状況

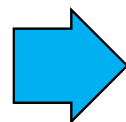


スタートの違いはアカウントの有無

休校が始まってからの本校の状況①

- 2月26日 学年末考査終了・休校措置発表(春休みまで)
- 2月27日 高校入試のため休校
～3月4日
- ~~その後~~ ~~卒業式・進路学習などの特別授業~~
- 3月中 卒業式、登校日1日(試験返却・通知表配布＋宿題配布)

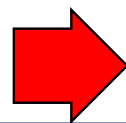
ここまでの遠隔授業の対応はなかった



初動は決して早くなかった

休校が始まってからの本校の状況②

- 4月 7日 緊急事態宣言・休校措置延長(5月6日まで)
- 4月 8日 入学式、登校日 宿題配布
この頃には「何とかできないか」という声
- 4月13日 教職員の勤務(自宅・時差)について県教委発表
- 4月14日 朝会で遠隔授業の対応についての連絡
Classroom活用の準備開始
ほとんどの授業用コードは午前中に集まる
- 4月17日 Classroomの案内文書等を発送

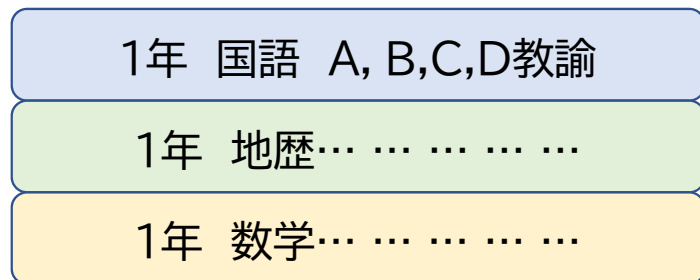


授業をしたい、学力保障をしたいという思い

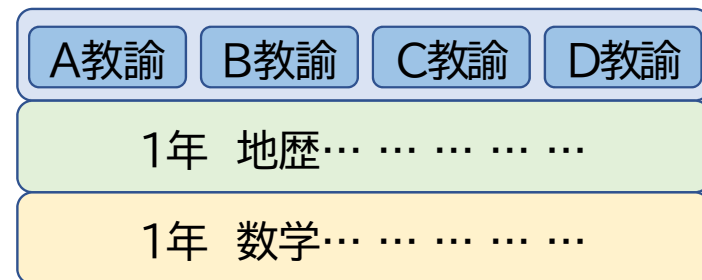
本校の取組①

・授業担当者の割り当て方

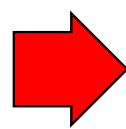
初めは教科単位



教科の特性等により担当ごとに移行



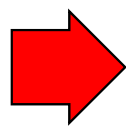
(イメージ)



ICTの得手不得手をカバーする体制
使いながら発展させていく運用

本校の取組②

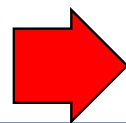
- 教員情報交換用のクラス
 - ICTの使い方についての情報交換
 - ICTの使い方の質問とその回答
 - 教師役と生徒役を試しに体験できる領域
 - 作った教材
 - 各種連絡
- 会議などで出勤した時の情報交換の機会



苦手な人もICTに慣れていく体制
新たな視点の発見

本校の取組③

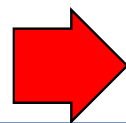
- 初めは生徒の質問への対応(自習中心型)
- 4月27日 知事からの休校延長要請(翌日決定、5月末まで)
授業時間数減少を補うための利用に移行
 - ネット教材活用
ネット上の動画の活用、オンライン教材の活用
 - 資料配布型
プリントのPDFや説明スライド
 - オンデマンド型
教室での授業を撮影やスライドにナレーション
 - リアルタイム型
チャットに答えながら授業→オンデマンド用に



位置付けの変化による活用の変化

教員の声

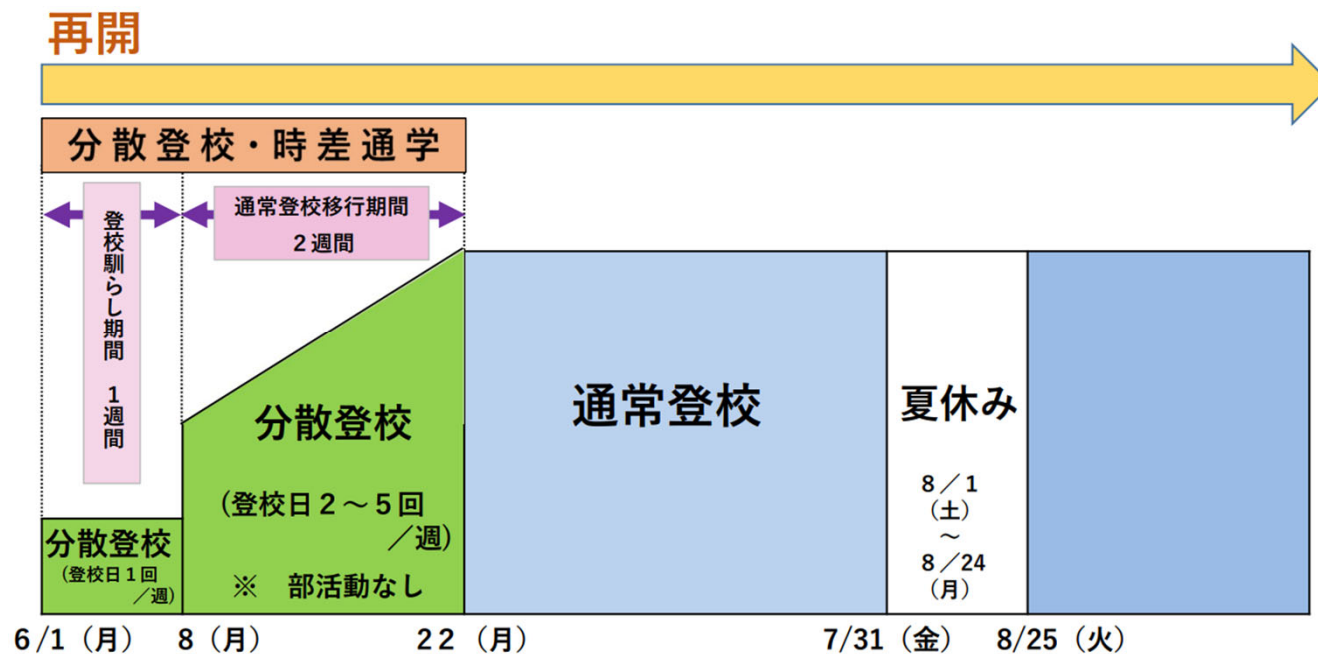
- 地歴科担当(動画を40本以上作成)
 - 何本も撮っているうちに、カメラに慣れてきた
 - 動画を10分に収めるために、教材研究を深めて取捨選択した
 - 動画を作成するにあたり、**教材の骨格が見えるようになった**
 - 平常に戻っても、**動画教材の良さも活かした授業を考えたい**
(討論、ロールプレイなどによりさらに内容理解を深められるように)
- 英語科担当
 - スピーキングの練習で、録画して提出させてみよう



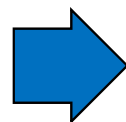
ICTの併用による**授業デザインの再構築へ**

今後の見込み

- 引き続き、遠隔授業が必要



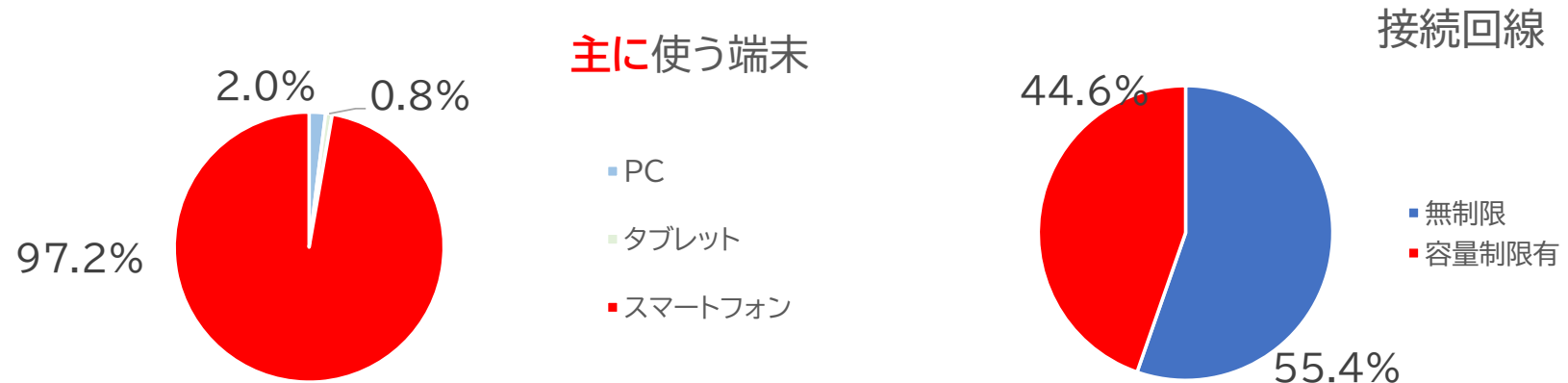
(第17回新型コロナウイルス対策本部会議資料より)



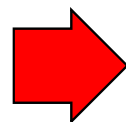
登校可能でも十分に授業ができない

見えてきた課題①（生徒側）

- 使用機器・通信環境の問題(本校1年生)



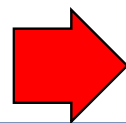
- 講座に登録されない、使い方に慣れていない
- アカウントの切り替えを忘れる



教材作成での配慮、登校時に操作の対応

見えてきた課題②（教員側）

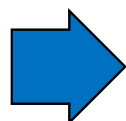
- 感染拡大時に学習を保障する体制の見直し
 - 長期に渡るとい認識での対応が必要
 - ICT活用・遠隔授業を**早期に学習保障として位置付け**が必要
- 平常時のICT活用の見直し
 - 研修体制を整え、**定期的に研修**を行うことが必要
 - 日頃から**活用場面(授業・HRなど)**を増やすことも必要
 - 第2波に備えるには、**生徒が登校できないときの授業デザイン**を準備する
- 機器や環境の整備の充実
 - 危機が始まってからでは遅い



ICTは**学習基盤**であるという認識が必要

まとめ

- ICTの整備・活用の重要であるとの認識を持つ
 - 整備、研修、普段の授業等での活用を進める
 - 授業改善の視点も持って検討する
- 教員がICTを活用しようとするモチベーションが大切
 - 緊急時の授業確保や学習保障では、効果を発揮できる
 - 平常時の授業でも活用する意義を見つけて、使うことが必要
- 緊急時に対応できる体制づくりが必要
 - 延長戦を見据えた覚悟
 - 協力できる体制を整える



第2波での**学習保障**につなげる改善を！

